

数値で現状を把握する 島根県吉賀町

- 「子どもを育み、子どもと共に発展するまちを目指して」を地方創生総合戦略の基本理念に掲げている。
- 出生率1.43（当別町は1.01）。
- 出生率のほか総合戦略に掲げた数値目標の達成状況を聞きたい。

なぜ
ここへ？

【研修データ】
 研修日：2018年5月15日
 研修先：吉賀町役場
 参加者：稲村・岡野・市川・古谷・山田・山崎・佐藤

- 【こんな話をききました！】
- 出生率が高い要因はなにか？
 - 総合戦略で子どもを中心に据えた理由とそれに対する町民の反応は？
 - 総合戦略に掲げた基本目標毎の各施策の実績と今後の展望は？
 - 総合戦略に掲げた数値目標の進捗状況は？

Table 1: 状況（住居型利用人数）

利用所名	双葉	六日市	七光	かきのこ	町外	小規模保育所	合計
4年度	51	33	37	41	2	4	178
5年度	51	26	35	41	2	4	169
6年度	56	21	40	41	1	9	173
7年度	69	18	40	37	2	6	182
8年度	69	24	36	40	2	5	182
9年度	66	39	35	40	2	6	192

Table 2: 概況（各年度4月1日現在の定員）

利用所名	双葉	六日市	七光	かきのこ	町外	小規模保育所	合計
4年度	45	20	45	45	30	30	240
5年度	45	20	45	45	30	30	225
6年度	45	20	45	45	30	30	210
7年度	45	20	45	40	12	12	184
8年度	45	20	45	40	12	12	174
9年度	45	20	45	40	12	12	184

【政策の効果を具体的な数値の推移で把握】

ここが
ポイント

- 幼児の年齢別人口推移、出生数、妊婦の出産時の年齢、多子の状況などの推移を数値で把握し、政策の効果を検証している。
- 出生率を町で独自に算出して傾向を把握している。



【吉賀町議会安永議長のご挨拶】

当別町に活
かします！



- 過去10年の子どもの年齢別人口を調査したところ、0歳～5歳の間で平均10人転入し、小学生まで転入超過だが、中学生になると転出超過となることが判明。
- 小学校入学時点での子どもの数に着目した政策立案の必要性について、議会で町長と議論。